

学校コード F124310107192

注3

設置年度 平成 31年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

鈴鹿大学

国際地域学部

国際地域学科

(必要がある場合) ○○専攻

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人享栄学園

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

職名・氏名

事務局長補佐 堤 秀紀

電話番号

059-372-2121

(夜間)

059-372-2121

e-mail

h-tsutsumi@suzuka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

国際地域学部

＜国際地域学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人享栄学園

(2) 大学名

鈴鹿大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒510-0298

三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カキオ カズヒコ) 垣尾 和彦 (平成25年4月)	(ミノワダ アキラ) 箕輪田 晃 (令和4年1月) (イチノ ショウジ) 市野 聖治 (平成31年4月)	体調不良による辞任 令和4年1月25日(4) 任期满子 平成31年4月1日(元)
学長	(イチノ ショウジ) 市野 聖治 (平成26年4月)	(カワマタ トシノリ) 川又 俊則 (令和4年4月)	体調不良による辞任 令和4年1月25日(4)
学部長	(タナカ リカ) 田中 利佳 (平成31年4月)	(イマミツ シュンスケ) 今光 俊介 (令和3年3月)	辞任 令和3年2月28日(3)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際地域学部 国際学科 学士（国際学）	社会学・社会 福祉学関係	4 年	120 人	3年次 10 人	500 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	120	人	120	人	120	人	120	人	120	人	0.88倍	0.88倍	
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)			
	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	()	()	207	-	213	-	149	-	39	-	-	-			
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[145]	[-]	[150]	[-]	[100]	[-]	[10]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	()	()	201	-	207	-	149	-	38	-	-	-			
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[140]	[-]	[144]	[-]	[100]	[-]	[10]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	()	()	160	-	162	-	122	-	38	-	-	-			
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[101]	[-]	[101]	[-]	[74]	[-]	[10]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	()	()	144	-	151	-	99	-	32	-	-	-			
	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[120]	[-]	[96]	[-]	[63]	[-]	[10]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A			1.2		1.25		0.82		0.26						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[] ()	[] ()	144 [120] (-)	- [-] (-)	151 [96] (-)	- [-] (-)	99 [64] (-)	- [-] (-)	32 [13] (-)	- [-] (-)	3年次編入学10名			
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	132 [109] (-)	- [-] (-)	147 [96] (-)	- [-] (-)	81 [50] (-)	- [-] (-)				
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	126 [103] (-)	- [-] (-)			139 [90] (-)	- [-] (-)
4年次							/		/				- [-] (-)	- [-] (-)
計			[] ()	[120] (-)	[205] (-)	[263] (-)							[249] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	144 人	12 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	12 人	9 人	一身上の都合(3人)、[進路変更3人]、[除籍6人]
令和2年度	283 人	14 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	8 人	5 人	一身上の都合(3人)、[進路変更3人]、[除籍2人]
			令和2年度	6 人	1 人	一身上の都合(4人)、除籍(1人)、[除籍1人]
令和3年度	372 人	43 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	9 人	9 人	[除籍8人]、[経済的理由1人]
			令和2年度	16 人	13 人	進路変更2人、除籍1人、[10人]、[一身上の都合1人]、[進路変更2人]
			令和3年度	18 人	16 人	体調不良1人、除籍1人、[除籍15人]、[進路変更1人]
令和4年度	371 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		69 人		68 人	53 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{12}{144} = \boxed{8.33} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{14}{283} = \boxed{4.94} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{43}{372} = \boxed{11.55} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{371} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際地域学部 国際地域学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	オーラルコミュニケーションⅠ	1前	2			2	1	1				
	オーラルコミュニケーションⅡ	1後	2			2	1	1				
	オーラルコミュニケーションⅢ	2前	2					1				
	オーラルコミュニケーションⅣ	2後	2					1				
	オーラルコミュニケーションⅤ	3前	2					1				
	オーラルコミュニケーションⅥ	3後	2					1				
	日本語講読Ⅰ	1前		2		1		1				1
	日本語講読Ⅱ	1後		2		1		1				1
	日本語作文Ⅰ	1前		2		1		1				
	日本語作文Ⅱ	1後		2		1		1				
	日本語会話Ⅰ	1前		2		1		1				
	日本語会話Ⅱ	1後		2		1		1				
	小計(12科目)	—	—	12	12	0	3	1	2	0	0	1
	中国語Ⅰ	1前		2								1
	中国語Ⅱ	1後		2								1
	韓国語Ⅰ	1前		2		1						
韓国語Ⅱ	1後		2		1							
ポルトガル語Ⅰ	1前		2								1	
ポルトガル語Ⅱ	1後		2								1	
小計(6科目)	—	—	0	12	0	1	0	0	0	0	2	
リセットイングリッシュⅠ	1前		2			1						
リセットイングリッシュⅡ	1後		2			1						
リスニングチャレンジ	2前		2		1							
ベーシックライティング	2後		2		1							
ビジネス日本語Ⅰ	2前		2		1							
ビジネス日本語Ⅱ	2後		2		1							
資格の日本語Ⅰ	2前		2				1					
資格の日本語Ⅱ	2後		2				1					
小計(8科目)	—	—	0	16	0	2	1	1	0	0		
コンピュータリテラシーⅠ	1前		2			1						
コンピュータリテラシーⅡ	1後		2			1						
マルチメディア演習	2前		2			1						
情報処理論	2後		2			1						
データベース論	3前		2			1						
小計(5科目)	—	—	4	6	0	0	1	0	0	0		
鈴鹿学	1前		2		3							
多文化理解	1前		2				1					
哲学	2前		2								2	
スポーツエクササイズⅠ	1前		2		1		1					
スポーツエクササイズⅡ	1後		2		1		1					
環境学	2後		2		1							
心理学	1前		2								1	
社会学	1前		2								1	
宗教学	2後		2								1	
日本国憲法	1後		2								1	
人権論	2前		2								1	
こころの癒しと音楽	1後		2								1	
科学と芸術の間	1後		2								1	
生物学	1前		2								1	
自然科学基礎	1後		2								1	
数理工学	2前		2								1	
小計(16科目)	—	—	0	32	0	5	0	2	0	0	10	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	オーラルコミュニケーションⅠ	1前	2			1		1				
	オーラルコミュニケーションⅡ	1後	2			1		1				
	オーラルコミュニケーションⅢ	2前	2			1		1				1
	オーラルコミュニケーションⅣ	2後	2			1		1				1
	オーラルコミュニケーションⅤ	3前	2			1		1				1
	オーラルコミュニケーションⅥ	3後	2					1				1
	日本語講読Ⅰ	1前		2		1		1		2		
	日本語講読Ⅱ	1後		2		1		1		2		
	日本語作文Ⅰ	1前		2				1		2		
	日本語作文Ⅱ	1後		2				1		2		
	日本語会話Ⅰ	1前		2		1				2		
	日本語会話Ⅱ	1後		2		1				2		
	小計(12科目)	—	—	12	12	0	2	1	1	2	0	1
	中国語Ⅰ	1前		2		1						
	中国語Ⅱ	1後		2		1						
	韓国語Ⅰ	1前		2		1						
韓国語Ⅱ	1後		2		1							
ポルトガル語Ⅰ	1前		2								1	
ポルトガル語Ⅱ	1後		2								1	
小計(6科目)	—	—	0	12	0	2	0	0	0	0	1	
リセットイングリッシュⅠ	1前		2					1			1	
リセットイングリッシュⅡ	1後		2					1			1	
リスニングチャレンジ	2前		2		1							
ベーシックライティング	2後		2		1							
ビジネス日本語Ⅰ	2前		2		1				1			
ビジネス日本語Ⅱ	2後		2		1				1			
資格の日本語Ⅰ	2前		2				1		1			
資格の日本語Ⅱ	2後		2				1		1			
小計(8科目)	—	—	0	16	0	2	1	1	2	0	1	
コンピュータリテラシーⅠ	1前		2				1					
コンピュータリテラシーⅡ	1後		2				1					
マルチメディア演習	2前		2				1					
情報処理論	2後		2				1					
データベース論	3前		2				1					
小計(5科目)	—	—	4	6	0	0	1	0	0	0	0	
鈴鹿学	1前		2			1		1				
多文化理解	1前		2					1				
哲学	2前		2									
スポーツエクササイズⅠ	1前		2		1				1			
スポーツエクササイズⅡ	1後		2		1				1			
環境学	2後		2									
心理学	1前		2								1	
社会学	1前		2								1	
宗教学	2後		2								1	
日本国憲法	1後		2								1	
人権論	2前		2								1	
こころの癒しと音楽	1後		2								1	
科学と芸術の間	1後		2								1	
生物学	1前		2								1	
自然科学基礎	1後		2								1	
歴史学	2前		2				1					
数理工学	2前		2								1	
小計(17科目)	—	—	0	34	0	4	1	1	1	0	7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般科目	観光サービス論	2後		2				1					
	インバウンド観光論	2前		2				1					
	文化とまちづくり	2前		2		1							
	地域福祉論	3後		2							1		
	災害と社会	3後		2		1							
	社会福祉概論	2前		2								1	
	スポーツ社会論	2後		2				1					
	体力トレーニング論	1前		2		1							
	生涯スポーツ指導論	2前		2		1							
	スポーツ心理学	2後		2		1							
	健康スポーツ演習Ⅰ	1前		2		1							
	健康スポーツ演習Ⅱ	1後		2		1							
	メディアスポーツ論	3前		2				1					
	スポーツとまちづくり	1後		2		1							
	スポーツツーリズム	3前		2				1					
	小計(24科目)	—	0	48	0	3	1	3	0	0		1	
	専門科目	地域スポーツ・マネジメント	1後		2				1				
		経営学総論	1前		2		1						
		経済学総論	1前		2			1					
		企業論	2前		2			1					
国際経済論		2後		2			1						
国際ビジネス英語Ⅰ		2前		2		1							
国際ビジネス英語Ⅱ		2後		2		1							
コミュニティ・スポーツ論		2後		2				1					
リテール・マーケティング		2後		2				1					
マーケティング論		2前		2		1							
実践ビジネス英語Ⅰ		2前		2				1					
実践ビジネス英語Ⅱ		2後		2				1					
観光ビジネス論		2前		2				1					
観光経済学		2後		2				1					
国際地域ベンチャービジネス論		2後		2				1					
国際経営論		2前		2				1					
国際経営戦略論		3後		2		1							
地域ブランド・マネジメント		3後		2		1							
ビジネスICT		3後		2				1					
国際経営管理論		3前		2				1					
ソーシャルビジネス論	3後		2				1						
スポーツ起業論	3前		2				1						
ビジネス会計	3後		2				1						
小計(23科目)	—	0	46	0	2	3	4	0	0				
専門科目	1年次演習Ⅰ	1前	2			7	4	4					
	1年次演習Ⅱ	1後	2			7	4	4					
	2年次演習Ⅰ	2前	2			7	4	4					
	2年次演習Ⅱ	2後	2			7	4	4					
	3年次演習Ⅰ	3前	2			8	4	5					
	3年次演習Ⅱ	3後	2			8	4	5					
	4年次演習・卒論Ⅰ	4前	2			8	4	4					
	4年次演習・卒論Ⅱ	4後	2			8	4	4					
小計(8科目)	—	16	0	0	8	4	5	0	0				
合計(148科目)	—	34	256	0	10	4	6	0	0		13		
卒業要件及び履修方法													
○専門科目の所属コースから30単位以上、コース共通科目の国際地域概論2単位以上、演習科目16単位を含め、70単位以上履修すること。													
○教養科目から、語学科目12単位(一般学生は、オーラルコミュニケーションⅠ、オーラルコミュニケーションⅡ、オーラルコミュニケーションⅢ、オーラルコミュニケーションⅣ、オーラルコミュニケーションⅤ、オーラルコミュニケーションⅥ/外国人留学生は、日本語講読Ⅰ、日本語講読Ⅱ、日本語作文Ⅰ、日本語作文Ⅱ、日本語会話Ⅰ、日本語会話Ⅱとする。)及びコンピュータリテラシーⅠ、コンピュータリテラシーⅡの4単位以上を含めて30単位以上履修すること。													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般科目	観光サービス論	2後		2					1				
	インバウンド観光論	2前		2					1				
	文化とまちづくり	2前		2						1			
	地域福祉論	3後		2								1	
	災害と社会	3後		2		1							
	社会福祉概論	2前		2								1	
	スポーツ社会論	2後		2				1					
	体力トレーニング論	1前		2		1							
	生涯スポーツ指導論	2前		2		1							
	スポーツ心理学	2後		2		1							
	健康スポーツ演習Ⅰ	1前		2							1		
	健康スポーツ演習Ⅱ	1後		2				1				1	
	メディアスポーツ論	3前		2				1					
	スポーツとまちづくり	1後		2		1					1		
	スポーツツーリズム	3前		2				1					
	小計(28科目)	—	0	56	0	3	1	2	1	0		4	
	専門科目	地域スポーツ・マネジメント	1後		2						1		
		経済数学入門	1後		2					1			
		ミクロ経済学	2前		2				1				
		マクロ経済学	2後		2				1				
経営学総論		1前		2					1				
経済学総論		1前		2				1					
企業論		2前		2								1	
国際経済論		2後		2				1					
国際ビジネス英語Ⅰ		2前		2		1						1	
国際ビジネス英語Ⅱ		2後		2		1						1	
コミュニティ・スポーツ論		2後		2					1				
リテール・マーケティング		2後		2				1					
マーケティング論		2前		2		1							
実践ビジネス英語Ⅰ		2前		2						1			
実践ビジネス英語Ⅱ		2後		2						1			
観光ビジネス論		2前		2						1			
観光経済学		2後		2						1			
国際地域ベンチャービジネス論		2後		2				1					
国際経営論		2前		2								1	
国際経営戦略論		3後		2		1							
地域ブランド・マネジメント	3後		2		1								
ビジネスICT	3後		2					1					
国際経営管理論	3前		2						1				
ソーシャルビジネス論	3後		2					1					
スポーツ起業論	3前		2						1				
ビジネス会計	3後		2				1						
小計(26科目)	—	0	52	0	2	2	4	1	0		3		
専門科目	1年次演習Ⅰ	1前	2			2	1	2	2				
	1年次演習Ⅱ	1後	2			2	1	2	2				
	2年次演習Ⅰ	2前	2			4	2		2				
	2年次演習Ⅱ	2後	2			4	2		2				
	3年次演習Ⅰ	3前	2			7	3	3	1				
	3年次演習Ⅱ	3後	2			7	3	3	1				
	4年次演習・卒論Ⅰ	4前	2			6	3	3				1	
	4年次演習・卒論Ⅱ	4後	2			6	3	3				1	
小計(8科目)	—	16	0	0	10	4	4	3	0		1		
合計(162科目)	—	34	282	0	10	4	4	3	0		17		
卒業要件及び履修方法													
○専門科目の所属コースから30単位以上、コース共通科目の国際地域概論2単位以上、演習科目16単位を含め、70単位以上履修すること。													
○教養科目から、語学科目12単位(一般学生は、オーラルコミュニケーションⅠ、オーラルコミュニケーションⅡ、オーラルコミュニケーションⅢ、オーラルコミュニケーションⅣ、オーラルコミュニケーションⅤ、オーラルコミュニケーションⅥ/外国人留学生は、日本語講読Ⅰ、日本語講読Ⅱ、日本語作文Ⅰ、日本語作文Ⅱ、日本語会話Ⅰ、日本語会話Ⅱとする。)及びコンピュータリテラシーⅠ、コンピュータリテラシーⅡの4単位以上を含めて30単位以上履修すること。													

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	オーラルコミュニケーションⅠ	1前	2			1		1			1
	オーラルコミュニケーションⅡ	1後	2			1		1			1
	オーラルコミュニケーションⅢ	2前	2			2		1			
	オーラルコミュニケーションⅣ	2後	2			1		1			
	オーラルコミュニケーションⅤ	3前	2					1			
	オーラルコミュニケーションⅥ	3後	2					1			
	日本語講読Ⅰ	1前		2		1	1				7
	日本語講読Ⅱ	1後		2		1	1				7
	日本語作文Ⅰ	1前		2		1	1				6
	日本語作文Ⅱ	1後		2		1	1				6
	日本語会話Ⅰ	1前		2		1	1				7
	日本語会話Ⅱ	1後		2		1	1				7
	小計(12科目)	—	12	12	0	3	1	1	0	0	8
	中国語Ⅰ	1前		2							1
	中国語Ⅱ	1後		2							1
	韓国語Ⅰ	1前		2		1					
	韓国語Ⅱ	1後		2		1					
	ポルトガル語Ⅰ	1前		2							1
	ポルトガル語Ⅱ	1後		2							1
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0	2
	リセットイングリッシュⅠ	1前		2		1	1				1
	リセットイングリッシュⅡ	1後		2		1	1				1
	リスニングチャレンジ	2前		2		1					
	ベーシックライティング	2後		2		1					
	ビジネス日本語Ⅰ	2前		2		1					
	ビジネス日本語Ⅱ	2後		2		1					
	資格の日本語Ⅰ	2前		2			1				
資格の日本語Ⅱ	2後		2			1					
小計(8科目)	—	0	16	0	3	2	0	0	0	1	
コンピュータリテラシーⅠ	1前		2			1				1	
コンピュータリテラシーⅡ	1後		2			1				1	
マルチメディア演習	2前		2			1					
情報処理論	2後		2			1					
データベース論	3前		2			1					
小計(5科目)	—	4	6	0	0	1	0	0	0	1	
鈴鹿学	1前		2		3						
多文化理解	1前		2			1					
哲学	2前		2							2	
スポーツエクササイズⅠ	1前		2		1		1			1	
スポーツエクササイズⅡ	1後		2		1		1			1	
環境学	2後		2		1						
心理学	1前		2							1	
社会学	1前		2							1	
宗教学	2後		2							1	
日本国憲法	1後		2							1	
人権論	2前		2							1	
こころの癒しと音楽	1後		2							1	
科学と芸術の間	1後		2							1	
生物学	1前		2							1	
自然科学基礎	1後		2							1	
歴史学	2前		2							1	
数理工学	2前		2							1	
小計(17科目)	—	0	34	0	5	1	1	0	0	12	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	オーラルコミュニケーションⅠ	1前	2			1		1			1
	オーラルコミュニケーションⅡ	1後	2			1		1			1
	オーラルコミュニケーションⅢ	2前	2			2		1			
	オーラルコミュニケーションⅣ	2後	2			1		1			
	オーラルコミュニケーションⅤ	3前	2					1			
	オーラルコミュニケーションⅥ	3後	2					1			
	日本語講読Ⅰ	1前		2		1	1				7
	日本語講読Ⅱ	1後		2		1	1				7
	日本語作文Ⅰ	1前		2		1	1				6
	日本語作文Ⅱ	1後		2		1	1				6
	日本語会話Ⅰ	1前		2		1	1				7
	日本語会話Ⅱ	1後		2		1	1				7
	小計(12科目)	—	12	12	0	3	1	1	0	0	8
	中国語Ⅰ	1前		2							1
	中国語Ⅱ	1後		2							1
	韓国語Ⅰ	1前		2		1					
	韓国語Ⅱ	1後		2		1					
	ポルトガル語Ⅰ	1前		2							1
	ポルトガル語Ⅱ	1後		2							1
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0	2
	リセットイングリッシュⅠ	1前		2		1	1				1
	リセットイングリッシュⅡ	1後		2		1	1				1
	リスニングチャレンジ	2前		2		1					
	ベーシックライティング	2後		2		1					
	ビジネス日本語Ⅰ	2前		2		1					
	ビジネス日本語Ⅱ	2後		2		1					
	資格の日本語Ⅰ	2前		2			1				
資格の日本語Ⅱ	2後		2			1					
小計(8科目)	—	0	16	0	3	2	0	0	0	1	
コンピュータリテラシーⅠ	1前		2			1				1	
コンピュータリテラシーⅡ	1後		2			1				1	
マルチメディア演習	2前		2			1					
情報処理論	2後		2			1					
データベース論	3前		2			1					
小計(5科目)	—	4	6	0	0	1	0	0	0	1	
鈴鹿学	1前		2		3						
多文化理解	1前		2			1					
哲学	2前		2							2	
スポーツエクササイズⅠ	1前		2		1		1			1	
スポーツエクササイズⅡ	1後		2		1		1			1	
環境学	2後		2		1						
心理学	1前		2							1	
社会学	1前		2							1	
宗教学	2後		2							1	
日本国憲法	1後		2							1	
人権論	2前		2							1	
こころの癒しと音楽	1後		2							1	
科学と芸術の間	1後		2							1	
生物学	1前		2							1	
自然科学基礎	1後		2							1	
歴史学	2前		2							1	
数理工学	2前		2							1	
小計(17科目)	—	0	34	0	5	1	1	0	0	12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般科目	観光サービス論	2後		2			1						
	インバウンド観光論	2前		2		1							
	文化とまちづくり	2前		2		1							
	地域福祉論	3後		2							1		
	災害と社会	3後		2		1							
	社会福祉概論	2前		2							1		
	スポーツ社会論	2後		2				1					
	体力トレーニング論	1前		2		1							
	生涯スポーツ指導論	2前		2		1							
	スポーツ心理学	2後		2		1							
	健康スポーツ演習Ⅰ	1前		2		1							
	健康スポーツ演習Ⅱ	1後		2		1							
	国際旅行業務管理特講	1前		2			1						
	スポーツ栄養学	1後		2							1		
	メディアスポーツ論	3前		2				1					
	スポーツとまちづくり	1後		2		1							
	スポーツツーリズム	3前		2				1					
	小計(26科目)	—	0	52	0	3	2	2	0	0	2		
	専門科目	地域スポーツ・マネジメント	1後		2				1				
		経済学入門	1後		2			1					
ミクロ経済学		2前		2			1						
マクロ経済学		2後		2			1						
経営学総論		1前		2		1							
経済学総論		1前		2			1						
企業論		2前		2			1						
国際経済論		2後		2			1						
国際ビジネス英語Ⅰ		2前		2		1					1		
国際ビジネス英語Ⅱ		2後		2		1					1		
コミュニティ・スポーツ論		2後		2				1					
リテール・マーケティング		2後		2			1						
マーケティング論		2前		2		1							
実践ビジネス英語Ⅰ		2前		2				1					
実践ビジネス英語Ⅱ		2後		2				1					
観光ビジネス論		2前		2		1							
観光経済学		2後		2			1						
国際地域ベンチャービジネス論		2後		2			1						
国際経営論		2前		2			1						
国際経営戦略論		3後		2		1							
地域ブランド・マネジメント	3後		2		1								
ビジネスICT	3後		2			1							
国際経営管理論	3前		2			1							
ソーシャルビジネス論	3後		2			1							
スポーツ起業論	3前		2				1						
ビジネス会計	3後		2			1							
小計(26科目)	—	0	52	0	2	3	3	0	0	1			
専門科目	1年次演習Ⅰ	1前	2			7	6	1					
	1年次演習Ⅱ	1後	2			7	6	1					
	2年次演習Ⅰ	2前	2			7	6	1					
	2年次演習Ⅱ	2後	2			7	6	1					
	3年次演習Ⅰ	3前	2			8	5	2					
	3年次演習Ⅱ	3後	2			8	5	2					
	4年次演習・卒論Ⅰ	4前	2			8	5	1					
	4年次演習・卒論Ⅱ	4後	2			8	5	1					
	小計(8科目)	—	16	0	0	8	6	2	0	0	0		
合計(160科目)	—	34	278	0	10	7	2	0	0	26			
卒業要件及び履修方法													
○専門科目の所属コースから30単位以上、コース共通科目の国際地域概論2単位以上、演習科目16単位を含め、70単位以上履修すること。													
○教養科目から、語学科目12単位(一般学生は、オーラルコミュニケーションⅠ、オーラルコミュニケーションⅡ、オーラルコミュニケーションⅢ、オーラルコミュニケーションⅣ、オーラルコミュニケーションⅤ、オーラルコミュニケーションⅥ/外国人留学生は、日本語講読Ⅰ、日本語講読Ⅱ、日本語作文Ⅰ、日本語作文Ⅱ、日本語会話Ⅰ、日本語会話Ⅱとする。)及びコンピュータリテラシーⅠ、コンピュータリテラシーⅡの4単位以上を含めて30単位以上履修すること。													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般科目	観光サービス論	2後		2			1						
	インバウンド観光論	2前		2		1							
	文化とまちづくり	2前		2		1							
	地域福祉論	3後		2							1		
	災害と社会	3後		2		1							
	社会福祉概論	2前		2							1		
	スポーツ社会論	2後		2				1					
	体力トレーニング論	1前		2		1							
	生涯スポーツ指導論	2前		2		1							
	スポーツ心理学	2後		2		1							
	健康スポーツ演習Ⅰ	1前		2		1							
	健康スポーツ演習Ⅱ	1後		2		1							
	国際旅行業務管理特講	1前		2			1						
	スポーツ栄養学	1後		2							1		
	メディアスポーツ論	3前		2				1					
	スポーツとまちづくり	1後		2		1							
	スポーツツーリズム	3前		2				1					
	小計(26科目)	—	0	52	0	3	2	2	0	0	2		
	専門科目	地域スポーツ・マネジメント	1後		2				1				
		経済学入門	1後		2			1					
ミクロ経済学		2前		2			1						
マクロ経済学		2後		2			1						
経営学総論		1前		2		1							
経済学総論		1前		2			1						
企業論		2前		2			1						
国際経済論		2後		2			1						
国際ビジネス英語Ⅰ		2前		2		1					1		
国際ビジネス英語Ⅱ		2後		2		1					1		
コミュニティ・スポーツ論		2後		2				1					
リテール・マーケティング		2後		2			1						
マーケティング論		2前		2		1							
実践ビジネス英語Ⅰ		2前		2				1					
実践ビジネス英語Ⅱ		2後		2				1					
観光ビジネス論		2前		2		1							
観光経済学		2後		2			1						
国際地域ベンチャービジネス論		2後		2			1						
国際経営論		2前		2			1						
国際経営戦略論		3後		2		1							
地域ブランド・マネジメント	3後		2		1								
ビジネスICT	3後		2			1							
国際経営管理論	3前		2			1							
ソーシャルビジネス論	3後		2			1							
スポーツ起業論	3前		2				1						
ビジネス会計	3後		2			1							
小計(26科目)	—	0	52	0	2	3	3	0	0	1			
専門科目	1年次演習Ⅰ	1前	2			7	6	1					
	1年次演習Ⅱ	1後	2			7	6	1					
	2年次演習Ⅰ	2前	2			7	6	1					
	2年次演習Ⅱ	2後	2			7	6	1					
	3年次演習Ⅰ	3前	2			8	5	2					
	3年次演習Ⅱ	3後	2			8	5	2					
	4年次演習・卒論Ⅰ	4前	2			8	5	1					
	4年次演習・卒論Ⅱ	4後	2			8	5	1					
	小計(8科目)	—	16	0	0	8	6	2	0	0	0		
合計(160科目)	—	34	278	0	10	7	2	0	0	26			
卒業要件及び履修方法													
○専門科目の所属コースから30単位以上、コース共通科目の国際地域概論2単位以上、演習科目16単位を含め、70単位以上履修すること。													
○教養科目から、語学科目12単位(一般学生は、オーラルコミュニケーションⅠ、オーラルコミュニケーションⅡ、オーラルコミュニケーションⅢ、オーラルコミュニケーションⅣ、オーラルコミュニケーションⅤ、オーラルコミュニケーションⅥ/外国人留学生は、日本語講読Ⅰ、日本語講読Ⅱ、日本語作文Ⅰ、日本語作文Ⅱ、日本語会話Ⅰ、日本語会話Ⅱとする。)及びコンピュータリテラシーⅠ、コンピュータリテラシーⅡの4単位以上を含めて30単位以上履修すること。													

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	オーラルコミュニケーションⅠ	1前	2			1		1			1
	オーラルコミュニケーションⅡ	1後	2			1		1			1
	オーラルコミュニケーションⅢ	2前	2			2		1			
	オーラルコミュニケーションⅣ	2後	2			1		1			
	オーラルコミュニケーションⅤ	3前	2					1			
	オーラルコミュニケーションⅥ	3後	2					1			
	日本語講読Ⅰ	1前		2		1	1				7
	日本語講読Ⅱ	1後		2		1	1				7
	日本語作文Ⅰ	1前		2		1	1				6
	日本語作文Ⅱ	1後		2		1	1				6
	日本語会話Ⅰ	1前		2		1	1				7
	日本語会話Ⅱ	1後		2		1	1				7
	小計(12科目)	—	12	12	0	3	1	1	0	0	8
	中国語Ⅰ	1前		2							1
	中国語Ⅱ	1後		2							1
	韓国語Ⅰ	1前		2		1					
	韓国語Ⅱ	1後		2		1					
	ポルトガル語Ⅰ	1前		2							1
	ポルトガル語Ⅱ	1後		2							1
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0	2
	リセットイングリッシュⅠ	1前		2		1	1				1
	リセットイングリッシュⅡ	1後		2		1	1				1
	リスニングチャレンジ	2前		2		1					
	ベーシックライティング	2後		2		1					
	ビジネス日本語Ⅰ	2前		2		1					
	ビジネス日本語Ⅱ	2後		2		1					
	資格の日本語Ⅰ	2前		2			1				
	資格の日本語Ⅱ	2後		2			1				
	小計(8科目)	—	0	16	0	3	2	0	0	0	1
	コンピュータリテラシーⅠ	1前		2			1				1
	コンピュータリテラシーⅡ	1後		2			1				1
	マルチメディア演習	2前		2			1				
	情報処理論	2後		2			1				
	データベース論	3前		2			1				
小計(5科目)	—	4	6	0	0	1	0	0	0	1	
鈴鹿学	1前		2		3						
多文化理解	1前		2			1					
哲学	2前		2							2	
スポーツエクササイズⅠ	1前		2		1		1			1	
スポーツエクササイズⅡ	1後		2		1		1			1	
環境学	2後		2		1						
心理学	1前		2							1	
社会学	1前		2							1	
宗教学	2後		2							1	
日本国憲法	1後		2							1	
人権論	2前		2							1	
こころの癒しと音楽	1後		2							1	
科学と芸術の間	1後		2							1	
生物学	1前		2							1	
自然科学基礎	1後		2							1	
歴史学	2前		2							1	
数理工学	2前		2							1	
小計(17科目)	—	0	34	0	5	1	1	0	0	12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	キャリア教育Ⅰ	2前		2			1					
	キャリア教育Ⅱ	2後		2			1					
	キャリア教育Ⅲ	3前		2			1					
	キャリア教育Ⅳ	3後		2			1					
	小計（4科目）		0	8	0	0	1	0	0	0	0	
	海外研修Ⅰ	2前		2		5	1					
	海外研修Ⅱ	2後		2		5	1					
	海外研修Ⅲ	2前		2		5	1					
	海外研修Ⅳ	2後		2		5	1					
	インターンシップⅠ	2前		1		1	1					
	インターンシップⅡ	2後		1		1	1					
	インターンシップⅢ	2前		2		1	1					
	インターンシップⅣ	2後		2		1	1					
	インターンシップⅤ	3後		2		1	1					
	ボランティア活動Ⅰ	1前		1		2	1					
	ボランティア活動Ⅱ	1前		1		2	1					
	ボランティア活動Ⅲ	1後		1		2	1					
ボランティア活動Ⅳ	1後		1		2	1						
地域連携特殊活動Ⅰ	1前		2		1							
地域連携特殊活動Ⅱ	1前		2		1							
地域連携特殊活動Ⅲ	1前		1		1							
地域連携特殊活動Ⅳ	1前		1		1							
小計（17科目）		—	0	26	0	8	3	2	0	0	0	
専門科目	国際地域概論	1前	2			8	4	2				
	国際事情Ⅰ	1前		2		3	1	1				1
	国際事情Ⅱ	1後		2		4						
	日本事情Ⅰ	1前		2		3	1	2				
	日本事情Ⅱ	1後		2		2	1					
	小計（5科目）		—	2	8	0	8	4	2	0	0	1
	文化人類学Ⅰ	1前		2			1					
	文化人類学Ⅱ	1後		2			1					
	スピーチプレゼンテーションⅠ	1前		2		1		1				
	スピーチプレゼンテーションⅡ	1前		2		1		1				
	異文化コミュニケーション論Ⅰ	2前		2			1					
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	2後		2			1					
	国際コミュニケーション論Ⅰ	2前		2		1						
	国際コミュニケーション論Ⅱ	2後		2		1						
	国際法	3前		2								1
	政治学	3前		2		1						
	日本政治外交史	3後		2		1						
	平和学	3後		2		1						
	国際関係論	2後		2		1						
	地域研究・アジアⅠ	2前		2		1						
	地域研究・アジアⅡ	2後		2		1						
	地域研究・アジアⅢ	2前		2		2						
	地域研究・アメリカ	2後		2			1					
	地域研究・ヨーロッパ	2前		2		1						
	地域研究・アフリカ	2後		2		1						
	言語学	2前		2		1						
グローバルスタディ特殊講義	2前		2		1							
非言語コミュニケーション	2後		2		1							
クリエイティブ・ライティング	2前		2		1		1					
アカデミック・ライティング	3後		2				1					
アドバンストイングリッシュⅠ	3前		2		1							
アドバンストイングリッシュⅡ	3後		2		1							
小計（26科目）		—	0	52	0	3	2	1	0	0	1	
専門科目	観光概論	1前		2		1						
	観光まちづくり論	1後		2		1						
	国内旅行業務論	1前		2			1					
	観光と文化	2後		2		1						
	モータースポーツ論	2前		2		1	1					
	観光政策論	2前		2			1					
	おもてなし実践論	2後		2			1					
	世界遺産論	2前		2			1					
	ニューツーリズム論	2後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般科目	観光サービス論	2後		2			1						
	インバウンド観光論	2前		2		1							
	文化とまちづくり	2前		2		1							
	地域福祉論	3後		2								1	
	災害と社会	3後		2		1							
	社会福祉概論	2前		2								1	
	スポーツ社会論	2後		2				1					
	体力トレーニング論	1前		2		1							
	生涯スポーツ指導論	2前		2		1							
	スポーツ心理学	2後		2		1							
	健康スポーツ演習Ⅰ	1前		2		1							
	健康スポーツ演習Ⅱ	1後		2		1							
	国際旅行業務管理特講	1前		2			1						
	スポーツ栄養学	1後		2								1	
	メディアスポーツ論	3前		2				1					
	スポーツとまちづくり	1後		2		1							
	スポーツツーリズム	3前		2				1					
	小計(26科目)	—	0	52	0	3	2	2	0	0		2	
	専門科目	地域スポーツ・マネジメント	1後		2				1				
		経済数学入門	1後		2			1					
ミクロ経済学		2前		2			1						
マクロ経済学		2後		2			1						
経営学総論		1前		2		1							
経済学総論		1前		2			1						
企業論		2前		2			1						
国際経済論		2後		2			1						
国際ビジネス英語Ⅰ		2前		2		1						1	
国際ビジネス英語Ⅱ		2後		2		1						1	
コミュニティ・スポーツ論		2後		2				1					
リテール・マーケティング		2後		2			1						
マーケティング論		2前		2		1							
実践ビジネス英語Ⅰ		2前		2				1					
実践ビジネス英語Ⅱ		2後		2				1					
観光ビジネス論		2前		2		1							
観光経済学		2後		2			1						
国際地域ベンチャービジネス論		2後		2			1						
国際経営論		2前		2			1						
国際経営戦略論		3後		2		1							
地域ブランド・マネジメント	3後		2		1								
ビジネスICT	3後		2			1							
国際経営管理論	3前		2			1							
ソーシャルビジネス論	3後		2			1							
スポーツ起業論	3前		2				1						
ビジネス会計	3後		2			1							
小計(26科目)	—	0	52	0	2	3	3	0	0		1		
専門科目	1年次演習Ⅰ	1前	2			7	6	1					
	1年次演習Ⅱ	1後	2			7	6	1					
	2年次演習Ⅰ	2前	2			7	6	1					
	2年次演習Ⅱ	2後	2			7	6	1					
	3年次演習Ⅰ	3前	2			8	5	2					
	3年次演習Ⅱ	3後	2			8	5	2					
	4年次演習・卒論Ⅰ	4前	2			8	5	1					
	4年次演習・卒論Ⅱ	4後	2			8	5	1					
小計(8科目)	—	16	0	0	8	6	2	0	0		0		
合計(160科目)	—	34	278	0	10	7	2	0	0		26		
卒業要件及び履修方法													
○専門科目の所属コースから30単位以上、コース共通科目の国際地域概論2単位以上、演習科目16単位を含め、70単位以上履修すること。													
○教養科目から、語学科目12単位(一般学生は、オーラルコミュニケーションⅠ、オーラルコミュニケーションⅡ、オーラルコミュニケーションⅢ、オーラルコミュニケーションⅣ、オーラルコミュニケーションⅤ、オーラルコミュニケーションⅥ/外国人留学生は、日本語講読Ⅰ、日本語講読Ⅱ、日本語作文Ⅰ、日本語作文Ⅱ、日本語会話Ⅰ、日本語会話Ⅱとする。)及びコンピューターリテラシーⅠ、コンピューターリテラシーⅡの4単位以上を含めて30単位以上履修すること。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

該当なし

【令和2年度】

・新規科目の追加「スピーチプレゼンテーションⅠ」「スピーチプレゼンテーションⅡ」「地域連携特殊活動Ⅰ」「地域連携特殊活動Ⅱ」「地域連携特殊活動Ⅲ」「地域連携特殊活動Ⅳ」「歴史学」「国内旅行業務管理特講」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済数学入門」スポーツ栄養学の12科目を追加。
・クラス編成上の理由により、「オーラルコミュニケーションⅠ」「オーラルコミュニケーションⅡ」「リセットイングリッシュⅠ」「リセットイングリッシュⅡ」「コンピュータリテラシーⅠ」「コンピュータリテラシーⅡ」「国際ビジネス英語Ⅰ」「国際ビジネス英語Ⅱ」の8科目について「兼任」を追加。

【令和3年度】

・オーラルコミュニケーションⅢについて、時間割およびクラス編成上、教授担当から兼任担当に変更。
・オーラルコミュニケーションⅤについて、クラス編成上、教授1名の担当を追加。
・オーラルコミュニケーションⅥについて、クラス編成上、教授1名の担当を追加。
・日本語講読Ⅰについて、兼任担当から助教2名の担当に変更。
・日本語講読Ⅱについて、兼任担当から助教2名の担当に変更。
・日本語作文Ⅰについて、兼任担当から助教2名の担当に変更。
・日本語作文Ⅱについて、兼任担当から助教2名の担当に変更。
・日本語会話Ⅰについて、兼任担当から助教2名の担当に変更。
・日本語会話Ⅱについて、兼任担当から助教2名の担当に変更。
・リセットイングリッシュⅠについて、准教授担当から兼任担当に変更。
・鈴鹿学について、教授担当3名の内、1名を講師に変更。
・スポーツエクササイズⅠについて、講師担当から助教担当に変更。
・スポーツエクササイズⅡについて、講師担当から助教担当に変更。
・歴史学について、兼任担当から教授担当に変更。
・キャリア教育Ⅰ～Ⅳについて、講師担当を追加。
・国際地域概論について、教授担当8名を7名とし、准教授担当を5名に変更。
・国際事情Ⅰ、国際事情Ⅱ、国際事情Ⅲ、国内事情Ⅱについて、担当授業教員の見直しにより変更。
・異文化コミュニケーション論Ⅱについて、准教授担当から教授担当に変更。
・国際法について、兼任担当から、教授担当に変更。
・観光サービス論について、准教授担当から講師担当に変更。
・文化とまちづくりについて、教授担当から講師担当に変更。
・スポーツと社会について、講師担当から教授担当に変更。
・健康スポーツ演習Ⅰについて、教授担当から助教担当に変更。
・スポーツとまちづくりについて、教授担当から助教担当に変更。
・地域スポーツマネジメントについて、講師担当から助教担当に変更。
・経済数学入門について、准教授担当から講師担当に変更。
・リテール・マーケティングについて、准教授担当から教授担当に変更。
・観光ビジネス論について、教授担当から講師担当に変更。
・観光経済学について、准教授担当から講師担当に変更。
・国際経営管理論について、准教授担当から講師担当に変更。
・1年次演習から3年次演習について、学生数に応じたクラス編成により、担当教員数の変更。

【令和4年度】

・クラス数縮小の理由により、「オーラルコミュニケーションⅠ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、兼任1」から「教授1、講師1」に変更。
・クラス数縮小の理由により、「オーラルコミュニケーションⅡ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、兼任1」から「教授1、講師1」に変更。
・クラス数縮小の理由により、「日本語作文Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「准教授1、助教2」に変更。
・クラス数縮小の理由により、「日本語作文Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「准教授1、助教2」に変更。
・「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
・「中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
・クラス数縮小の理由により、「リセットイングリッシュⅠ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、兼任2」から「講師1、兼任1」に変更。
・クラス数縮小の理由により、「リセットイングリッシュⅡ」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、兼任1」から「講師1、兼任1」に変更。
・クラス数縮小の理由により、「コンピュータリテラシーⅠ」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任1」から「准教授1」に変更。

- ・クラス数縮小の理由により、「コンピュータリテラシーⅡ」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・クラス数縮小の理由により、「スポーツエクササイズⅠ」の専任教員等の配置を「教授1、助教1、兼任1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・クラス数縮小の理由により、「スポーツエクササイズⅡ」の専任教員等の配置を「教授1、助教1、兼任1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・複数担当の「国際地域概論」の専任教員等の配置を「教授7、准教授5、講師2」から「教授7、准教授4、講師3」に変更。
- ・複数担当の「国際事情Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、講師1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・複数担当の「国際事情Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1講師1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・複数担当の「日本事情Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・複数担当の「日本事情Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2」から「教授1、助教1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任により「文化人類学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任により「文化人類学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・准教授から教授への昇任により「異文化コミュニケーション論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・複数担当の「モータースポーツ論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「世界遺産論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・専門教育の充実を図る理由により、「スポーツ経営学」の授業科目を新設し、「助教1」が担当。
- ・専門教育の充実を図る理由により、「スポーツビジネス概論」の授業科目を新設し、「教授1」が担当。
- ・複数担当の「経営学総論」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「講師1」に変更。
- ・「企業論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・「国際地域ベンチャービジネス論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・「ビジネス会計」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・クラス数縮小等の理由により、「1年次演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、講師2、助教1」から「教授2、准教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・クラス数縮小等の理由により、「1年次演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、講師2、助教1」から「教授2、准教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・クラス数縮小等の理由により、「2年次演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師1、助教1」から「教授4、准教授2、助教2」に変更。
- ・クラス数縮小等の理由により、「2年次演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師1、助教1」から「教授4、准教授2、助教2」に変更。
- ・クラス数縮小等の理由により、「3年次演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授6、准教授4、講師3」から「教授7、准教授3、講師3、助教1」に変更。
- ・クラス数縮小等の理由により、「3年次演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授6、准教授4、講師3」から「教授7、准教授3、講師3、助教1」に変更。
- ・クラス数縮小等の理由により、「4年次演習・卒論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授6、准教授3、講師3、」に変更。
- ・クラス数縮小等の理由により、「4年次演習・卒論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授6、准教授3、講師3」に変更。

(注3)

授業科目名の変更、新規科目の追加などを箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	131 科目	0 科目	148 科目	17 科目 [0]	145 科目 [14]	0 科目 [0]	162 科目 [14]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	哲学	2	2前	一般	選択	履修者少数のため隔年開講
2	環境学	2	2後	一般	選択	履修者少数のため隔年開講
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生に対する履修指導により、履修希望者には次年度開講により対応するため、特に支障がないものと判断している。学生には、オリエンテーションでの周知と個別面談で説明している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{148} = \boxed{1.35}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 (必要面積1,880㎡) と共用		
	校舎敷地	㎡	6,064.51㎡	㎡	6,064.51㎡			
	運動場用地	㎡	17,175.00㎡	㎡	17,175.00㎡			
	小 計	㎡	23,239.51㎡	㎡	23,239.51㎡			
	そ の 他	㎡	59,218.45㎡	㎡	59,218.45㎡			
	合 計	㎡	82,457.96㎡	㎡	82,457.96㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 (必要面積3,250㎡) と共用			
	481.75㎡ (481.75㎡)	7,387.11㎡ (7,387.11㎡)	3,750.36㎡ (3,750.36㎡)	11,619.21㎡ (11,619.21㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 全体		
	8室	9室	17室	3室 (補助職員 1人)	2室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 全体55室		
	国際地域学部 国際地域学科		22 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 全体 図書・設備充実のため (元) 図書・設備充実のため -(30)-
	国際地域学部	77,884 [1,687] (79,770 [1,687]) -(77,884 [1,687])-	782 [144] (782 [144])	0 [0] (0 [0])	540 (540)	1,332 (1,332)	31 (31)	
	計	77,884 [1,687] (79,770 [1,687]) -(77,884 [1,687])-	782 [144] (782 [144])	0 [0] (0 [0])	540 (540)	1,332 (1,332)	31 (31)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			鈴鹿大学 鈴鹿大学短期大学部 全体	
	1,331.44㎡	230席		162,000冊				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	1,745㎡	グ ラ ウ ン ド 1 面		テ ニ ス コ ー ト 3 面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	120千円	120千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,130千円	830千円	830千円	830千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、寄付金収入、検定料収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	鈴鹿大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
国際人間科学部(新設)	4	-	-	-	-	-	-	-	平成27	-	
国際学科	4	-	-	-	学士(国際学)	-	-	-	平成27	三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222	平成29年度学生募集停止
こども教育学部	4	50	3年次5	210	-	0.56	0.54	-	平成29	-	
こども教育学科	4	50	3年次5	210	学士(教育学)	0.56	0.54	-	平成29	三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222	
幼児教育学専攻	4	25	3年次3	106	学士(教育学)	0.64	0.64	-	平成29	三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222	
養護教育学専攻	4	25	3年次2	104	学士(教育学)	0.49	0.44	-	平成29	三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222	
国際地域学部	4	120	3年次10	500	-	0.88	0.88	-	平成31	-	
国際地域学科	4	120	3年次10	500	学士(国際学)	0.88	0.88	-	平成31	三重県鈴鹿市郡山町字西高山663番222	
大学全体	-	170	3年次15	710	-	0.78	0.34	-	-	-	

大学の名称	鈴鹿大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
大学院	2	10	-	20	-	1.05	0.80	-	平成10	-	
国際学研究科	2	10	-	20	学修士 (国際学)	1.05	0.80	-	平成10	三重県鈴鹿市郡山町 字西高山663番222	
大学院全体	-	35	-	75	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	鈴鹿大学短期大学部					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍			
生活コミュニケーション学科	2	90	-	180		0.49	0.48	-	昭和41	三重県鈴鹿市郡山町 字西高山663番222
食物栄養学専攻	2	40	-	80	短期大学士(生活学)	0.63	0.32	-	昭和42	
こども学専攻	2	50	-	100	短期大学士(生活学)	0.39	0.80	-	平成17	
大学全体	-	90	-	180	-	0.49	0.49	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専	准教授	原 仁志 (48) <平成31年4月> 工学修士	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ マルチメディア演習 情報処理論 データベース論 ビジネスICT 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	准教授	原 仁志 (48) <平成31年4月> 工学修士	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ マルチメディア演習 情報処理論 データベース論 ビジネスICT 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	准教授	原 仁志 (49) <平成31年4月> 工学修士	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ マルチメディア演習 情報処理論 データベース論 ビジネスICT 国際地域概論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	准教授	原 仁志 (50) <平成31年4月> 工学修士	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ マルチメディア演習 情報処理論 データベース論 ビジネスICT 国際地域概論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	准教授	原 仁志 (51) <平成31年4月> 工学修士	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータリテラシーⅡ マルチメディア演習 情報処理論 データベース論 ビジネスICT 国際地域概論 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専	准教授	天野 剛至 (48) <平成31年4月> 修士(学術)	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 異文化コミュニケーション論Ⅰ 異文化コミュニケーション論Ⅱ 地域研究・アメリカ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	准教授	天野 剛至 (49) <平成31年4月> 修士(学術)	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 異文化コミュニケーション論Ⅰ 異文化コミュニケーション論Ⅱ 地域研究・アメリカ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論	専	准教授	天野 剛至 (50) <平成31年4月> 修士(学術)	リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 異文化コミュニケーション論Ⅰ 異文化コミュニケーション論Ⅱ 地域研究・アメリカ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論	専	准教授	天野 剛至 (51) <平成31年4月> 修士(学術)	リセットイングリッシュⅡ 文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 異文化コミュニケーション論Ⅰ 地域研究・アメリカ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論	専	准教授	天野 剛至 (51) <平成31年4月> 修士(学術)	文化人類学Ⅰ 文化人類学Ⅱ 異文化コミュニケーション論Ⅰ 地域研究・アメリカ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 国際地域概論
専	准教授	高見 啓一 (40) <平成31年4月> 修士(商学・文化政策学)	企業論 リテール・マーケティング 国際地域ベンチャービジネス論 国際経営管理論 ビジネス会計 キャリア教育Ⅰ キャリア教育Ⅱ キャリア教育Ⅲ キャリア教育Ⅳ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	准教授	高見 啓一 (40) <平成31年4月> 修士(商学・文化政策学)	企業論 リテール・マーケティング 国際地域ベンチャービジネス論 国際経営管理論 ビジネス会計 キャリア教育Ⅰ キャリア教育Ⅱ キャリア教育Ⅲ キャリア教育Ⅳ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 国際事情Ⅰ 日本事情Ⅰ												
専	准教授	郭 育仁 (38) <平成31年4月> 博士(政策科学)	国内旅行業務論 モータースポーツ論 観光政策論 世界遺産論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ おもてなし実践論 ニューツーリズム論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	准教授	郭 育仁 (38) <平成31年4月> 博士(政策科学)	国内旅行業務論 モータースポーツ論 観光政策論 世界遺産論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ おもてなし実践論 ニューツーリズム論 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 日本事情Ⅱ	専	准教授	郭 育仁 (39) <平成31年4月> 博士(政策科学)	国内旅行業務論 モータースポーツ論 観光政策論 世界遺産論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 観光経済学 国際旅行業務管理特講 おもてなし実践論 ニューツーリズム論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 日本事情Ⅱ	専	准教授	郭 育仁 (40) <平成31年4月> 博士(政策科学)	国内旅行業務論 モータースポーツ論 観光政策論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 観光経済学 国際旅行業務管理特講 ニューツーリズム論 インバウンド観光論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 日本事情Ⅱ	専	准教授	郭 育仁 (41) <平成31年4月> 博士(政策科学)	国内旅行業務論 観光政策論 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ 海外研修Ⅰ 海外研修Ⅱ 海外研修Ⅲ 海外研修Ⅳ 国際旅行業務管理特講 ニューツーリズム論 インバウンド観光論
専	講師	棧敷 まゆみ (49) <平成31年4月> 修士(人文科学)	日本語講読Ⅰ 日本語作文Ⅰ 日本語会話Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅱ 日本語会話Ⅱ 多文化理解 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ 資格の日本語Ⅰ 資格の日本語Ⅱ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ	専	講師	棧敷 まゆみ (49) <平成31年4月> 修士(人文科学)	日本語講読Ⅰ 日本語作文Ⅰ 日本語会話Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅱ 日本語会話Ⅱ 多文化理解 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ 資格の日本語Ⅰ 資格の日本語Ⅱ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ	専	講師	棧敷 まゆみ (50) <平成31年4月> 修士(人文科学)	日本語講読Ⅰ 日本語作文Ⅰ 日本語会話Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅱ 日本語会話Ⅱ 多文化理解 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ 資格の日本語Ⅰ 資格の日本語Ⅱ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ	専	准教授	棧敷 まゆみ (51) <平成31年4月> 修士(人文科学)	日本語講読Ⅰ 日本語作文Ⅰ 日本語会話Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅱ 日本語会話Ⅱ 多文化理解 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ 資格の日本語Ⅰ 資格の日本語Ⅱ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ	専	准教授	棧敷 まゆみ (52) <平成31年4月> 修士(人文科学)	日本語講読Ⅰ 日本語作文Ⅰ 日本語講読Ⅱ 日本語作文Ⅱ 多文化理解 ボランティア活動Ⅰ ボランティア活動Ⅱ ボランティア活動Ⅲ ボランティア活動Ⅳ 資格の日本語Ⅰ 資格の日本語Ⅱ 国際地域概論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名								
専	講師	崔 載弦 (47) <平成31年4月> 博士(経済学)	インバウンド観光論 観光ビジネス論 地域研究・アジアⅢ 観光サービス論 観光経済学 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	講師	崔 載弦 (47) <平成31年4月> 博士(経済学)	インバウンド観光論 観光ビジネス論 地域研究・アジアⅢ 観光サービス論 観光経済学 インターンシップⅠ インターンシップⅡ インターンシップⅢ インターンシップⅣ インターンシップⅤ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 国際事情Ⅰ 日本事情Ⅰ	専	講師	Brian James Mohoney (44) <平成31年4月> Master of Science in Education	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ オーラルコミュニケーションⅢ オーラルコミュニケーションⅣ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ クリエイティブ・ライティング 実践ビジネス英語Ⅰ 実践ビジネス英語Ⅱ アカデミック・ライティング 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	講師	Brian James Mohoney (44) <平成31年4月> Master of Science in Education	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ オーラルコミュニケーションⅢ オーラルコミュニケーションⅣ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ クリエイティブ・ライティング 実践ビジネス英語Ⅰ 実践ビジネス英語Ⅱ アカデミック・ライティング スピーチプレゼンテーションⅠ スピーチプレゼンテーションⅡ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	講師	Brian James Mohoney (46) <平成31年4月> Master of Science in Education	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ オーラルコミュニケーションⅢ オーラルコミュニケーションⅣ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ クリエイティブ・ライティング 実践ビジネス英語Ⅰ 実践ビジネス英語Ⅱ アカデミック・ライティング スピーチプレゼンテーションⅠ スピーチプレゼンテーションⅡ 地域研究・アメリカ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	講師	Brian James Mohoney (47) <平成31年4月> Master of Science in Education	オーラルコミュニケーションⅠ オーラルコミュニケーションⅡ オーラルコミュニケーションⅢ オーラルコミュニケーションⅣ オーラルコミュニケーションⅤ オーラルコミュニケーションⅥ クリエイティブ・ライティング 実践ビジネス英語Ⅰ 実践ビジネス英語Ⅱ アカデミック・ライティング スピーチプレゼンテーションⅠ スピーチプレゼンテーションⅡ リセットイングリッシュⅠ リセットイングリッシュⅡ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専	講師	竹田 昌平 (39) <平成31年4月> 修士(国際学)	コミュニティ・スポーツ論 スポーツツーリズム メディアスポーツ論 スポーツ起業論 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ	専	講師	竹田 昌平 (39) <平成31年4月> 修士(国際学)	コミュニティ・スポーツ論 スポーツツーリズム メディアスポーツ論 スポーツ起業論 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ	専	講師	竹田 昌平 (40) <平成31年4月> 修士(国際学)	コミュニティ・スポーツ論 スポーツツーリズム メディアスポーツ論 スポーツ起業論 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ	専	講師	竹田 昌平 (41) <平成31年4月> 修士(国際学)	コミュニティ・スポーツ論 スポーツツーリズム メディアスポーツ論 メディアスポーツ論 スポーツ起業論 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ								
専	講師	小野 圭久 (53) <平成31年4月> 修士(スポーツ健康科学)	スポーツエクササイズⅠ スポーツエクササイズⅡ スポーツ社会論 地域スポーツマネジメント 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	講師	小野 圭久 (53) <平成31年4月> 修士(スポーツ健康科学)	スポーツエクササイズⅠ スポーツエクササイズⅡ スポーツ社会論 地域スポーツマネジメント 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 日本事情Ⅰ	専	講師	小野 圭久 (54) <平成31年4月> 修士(スポーツ健康科学)	スポーツエクササイズⅠ スポーツエクササイズⅡ スポーツ社会論 地域スポーツマネジメント 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 日本事情Ⅰ												
専	講師	佐藤 惣哉 (29) <平成31年4月> 博士(経済学)	経済学総論 国際経営論 国際経済論 ソーシャルビジネス論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専	講師	佐藤 惣哉 (30) <平成31年4月> 博士(経済学)	経済学総論 国際経営論 国際経済論 ソーシャルビジネス論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 国際事情Ⅰ 日本事情Ⅰ	専	講師	佐藤 惣哉 (31) <平成31年4月> 博士(経済学)	経済学総論 国際経営論 国際経済論 ソーシャルビジネス論 企業論 ミクロ経済学 マクロ経済学 経済学入門 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 国際事情Ⅰ	専	准教授	佐藤 惣哉 (32) <平成31年4月> 博士(経済学)	経済学総論 国際経済論 ソーシャルビジネス論 ミクロ経済学 マクロ経済学 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 国際事情Ⅰ	専	准教授	佐藤 惣哉 (33) <平成31年4月> 博士(経済学)	経済学総論 国際経済論 ソーシャルビジネス論 ミクロ経済学 マクロ経済学 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ 国際地域概論 国際事情Ⅰ				
				専	准教授	松井 義司 (60) <令和元年10月> 博士(経済学)	日本事情Ⅰ キャリア教育Ⅰ キャリア教育Ⅱ リテールマーケティング 国際地域ベンチャービジネス論 国際地域概論	専	准教授	松井 義司 (61) <令和元年10月> 博士(経済学)	日本事情Ⅰ キャリア教育Ⅰ キャリア教育Ⅱ キャリア教育Ⅲ キャリア教育Ⅳ 国際地域ベンチャービジネス論 国際地域概論 国際経営論 企業論 ビジネス会計 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ												

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	川又 俊則 (52) ＜平成31年4月＞ 修士(文学)	社会学 宗教学	兼任	教授	川又 俊則 (53) ＜平成31年4月＞ 修士(文学)	社会学 宗教学	兼任	教授	川又 俊則 (54) ＜平成31年4月＞ 修士(文学)	社会学 宗教学	兼任	教授	川又 俊則 (55) ＜平成31年4月＞ 修士(文学)	社会学 宗教学
兼任	教授	山路 克文 (66) ＜平成31年4月＞ 社会学修士	社会福祉概論 地域福祉論	兼任	教授	山路 克文 (66) ＜平成31年4月＞ 社会学修士	社会福祉概論 地域福祉論	兼任	教授	山路 克文 (67) ＜平成31年4月＞ 社会学修士	社会福祉概論 地域福祉論	兼任	教授	山路 克文 (68) ＜平成31年4月＞ 社会学修士	社会福祉概論 地域福祉論
兼任	教授	江口(仲) 律子 (51) ＜平成31年4月＞ 修士(教育学)	心理学	兼任	教授	江口(仲) 律子 (51) ＜平成31年4月＞ 修士(教育学)	心理学								
兼任	教授	中野 潤三 (64) ＜平成31年4月＞ 法学修士	哲学	兼任	教授	中野 潤三 (64) ＜平成31年4月＞ 法学修士	哲学 国際地域概論 国際事情Ⅰ 国際事情Ⅱ 日本事情Ⅱ	兼任	教授	中野 潤三 (65) ＜平成31年4月＞ 法学修士	哲学 国際法				
専任	講師	渡辺 敏明 (51) ＜令和2年9月＞ 修士(経営学)	文化とまちづくり 国際地域概論 観光ビジネス論 国際事情Ⅰ 観光経済学 おもてなし実践論 観光サービス論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ	専任	講師	渡辺 敏明 (52) ＜令和2年9月＞ 修士(経営学)	文化とまちづくり 国際地域概論 観光ビジネス論 国際事情Ⅰ 観光経済学 おもてなし実践論 観光サービス論 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ	専任	講師	小西 琴絵 (37) ＜令和3年4月＞ 修士(経営学)	キャリア教育Ⅰ キャリア教育Ⅱ キャリア教育Ⅲ キャリア教育Ⅳ 経営学総論 国際経営管理論 鈴鹿学 国際地域概論 経済学入門 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ	専任	講師	小西 琴絵 (38) ＜令和3年4月＞ 修士(経営学)	キャリア教育Ⅰ キャリア教育Ⅱ キャリア教育Ⅲ キャリア教育Ⅳ 経営学総論 国際経営管理論 鈴鹿学 国際地域概論 経済学入門 日本事情Ⅰ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ 4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ
専任	助教	音成 佐矢子 (45) ＜令和3年4月＞ 学士(音楽)	日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語講義Ⅰ 日本語講義Ⅱ 日本語作文Ⅰ 日本語作文Ⅱ	専任	助教	音成 佐矢子 (46) ＜令和3年4月＞ 学士(音楽)	日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語講義Ⅰ 日本語講義Ⅱ 日本語作文Ⅰ 日本語作文Ⅱ ビジネス日本語Ⅰ ビジネス日本語Ⅱ 日本事情Ⅱ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ	専任	助教	山本 晃彦 (52) ＜令和3年4月＞ 博士(言語教育学)	日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語講義Ⅰ 日本語講義Ⅱ 日本語作文Ⅰ 日本語作文Ⅱ	専任	助教	山本 晃彦 (53) ＜令和3年4月＞ 博士(言語教育学)	日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ 日本語講義Ⅰ 日本語講義Ⅱ 日本語作文Ⅰ 日本語作文Ⅱ 日本事情Ⅱ 資格の日本語Ⅰ 資格の日本語Ⅱ 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ
専任	助教	紺田 俊 (25) ＜令和3年4月＞ 修士(スポーツ科学)	スポーツエクササイズⅠ スポーツエクササイズⅡ 健康スポーツ演習Ⅰ 地域スポーツ・マネジメント スポーツとまちづくり 1年次演習Ⅰ 1年次演習Ⅱ 2年次演習Ⅰ 2年次演習Ⅱ	専任	助教	紺田 俊 (26) ＜令和3年4月＞ 修士(スポーツ科学)	スポーツエクササイズⅠ スポーツエクササイズⅡ 健康スポーツ演習Ⅰ 地域スポーツ・マネジメント スポーツとまちづくり スポーツ経営学 日本事情Ⅰ 国際地域概論 3年次演習Ⅰ 3年次演習Ⅱ								

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	周国龍 (63) <平成31年4月> 学術修士	日本語講読 I 日本語講読 II 日本語会話 II 日本語作文 II 中国語 I 中国語 II 哲学
兼任	教授	長澤 貴 (51) <平成31年4月> 修士(教育学)	人権論
兼任	助教	木村 有里 (42) <平成31年4月> 修士(音楽療法)	こころの癒しと音楽 科学と芸術の間
兼任	准教授	櫻井 秀樹 (48) <平成31年4月> 修士(農学)	生物学
兼任	教授	福永 峰子 (60) <平成31年4月> 短期大学士	自然科学基礎
兼任	助教	神谷 勇毅 (39) <平成31年4月> 博士(経済情報)	数理工学
兼任	講師	陶山 宗幸 (59) <平成31年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任	講師	鈴木 真由美 (46) <平成31年4月> 修士(教育学)	ポルトガル語 I ポルトガル語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	周国龍 (63) <平成31年4月> 学術修士	日本語講読 I 日本語講読 II 日本語会話 II 日本語作文 II 中国語 I 中国語 II 哲学
兼任	教授	長澤 貴 (51) <平成31年4月> 修士(教育学)	人権論
兼任	助教	辻(木村) 有里 (42) <平成31年4月> 修士(音楽療法)	こころの癒しと音楽 科学と芸術の間
兼任	准教授	櫻井 秀樹 (48) <平成31年4月> 修士(農学)	生物学
兼任	教授	福永 峰子 (60) <平成31年4月> 短期大学士	自然科学基礎
兼任	助教	神谷 勇毅 (39) <平成31年4月> 博士(経済情報)	数理工学
兼任	講師	陶山 宗幸 (59) <平成31年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任	講師	鈴木 真由美 (46) <平成31年4月> 修士(教育学)	ポルトガル語 I ポルトガル語 II
兼任	講師	中谷 恵子 (64) <平成31年4月> 学士(学術)	多文化理解 日本語作文 I 日本語講読 II
兼任	講師	橋川 恵介 (33) <平成31年4月> 修士(国際学)	スポーツエクササイズ I スポーツエクササイズ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	周国龍 (64) <平成31年4月> 学術修士	日本語講読 I 日本語講読 II 日本語会話 II 日本語作文 II 中国語 I 中国語 II 哲学 1年次演習 I 1年次演習 II 2年次演習 I 2年次演習 II 国際事情 I
兼任	教授	長澤 貴 (52) <平成31年4月> 修士(教育学)	人権論
兼任	助教	辻(木村) 有里 (43) <平成31年4月> 修士(音楽療法)	こころの癒しと音楽 科学と芸術の間
兼任	准教授	櫻井 秀樹 (49) <平成31年4月> 修士(農学)	生物学
兼任	教授	福永 峰子 (61) <平成31年4月> 短期大学士	自然科学基礎
兼任	助教	神谷 勇毅 (40) <平成31年4月> 博士(経済情報)	数理工学
兼任	講師	陶山 宗幸 (60) <平成31年4月> 修士(法学)	日本国憲法
兼任	講師	鈴木 真由美 (47) <平成31年4月> 修士(教育学)	ポルトガル語 I ポルトガル語 II
兼任	講師	中谷 恵子 (65) <平成31年4月> 学士(学術)	日本語作文 I 日本語作文 II
兼任	講師	橋川 恵介 (34) <平成31年4月> 修士(国際学)	スポーツエクササイズ I スポーツエクササイズ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	木村 美来 (45) <令和3年4月> 博士(学術)	中国語 I 中国語 II
兼任	教授	長澤 貴 (53) <平成31年4月> 修士(教育学)	人権論
兼任	教授	輪銅 久美子 (70) <令和3年4月> 芸術学士	こころの癒しと音楽
兼任	教授	みやざき 美栄 (44) <令和3年4月> 修士(芸術)	科学と芸術の間
兼任	准教授	櫻井 秀樹 (50) <平成31年4月> 修士(農学)	自然科学基礎
兼任	教授	木村 幸泰 (62) <令和3年4月> 学士(教育学)	生物学
兼任	助教	神谷 勇毅 (41) <平成31年4月> 博士(経済情報)	数理工学
兼任	教授	清田 雄治 (66) <令和3年4月> 法学修士	日本国憲法
兼任	講師	鈴木 真由美 (48) <平成31年4月> 修士(教育学)	ポルトガル語 I ポルトガル語 II
兼任	講師	橋川 恵介 (35) <平成31年4月> 修士(国際学)	スポーツエクササイズ I スポーツエクササイズ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	みやざき 美栄 (45) <令和3年4月> 修士(芸術)	科学と芸術の間 こころの癒しと音楽
兼任	准教授	櫻井 秀樹 (51) <平成31年4月> 修士(農学)	自然科学基礎
兼任	教授	木村 幸泰 (63) <令和3年4月> 学士(教育学)	生物学
兼任	助教	神谷 勇毅 (42) <平成31年4月> 博士(経済情報)	数理工学
兼任	教授	清田 雄治 (67) <令和3年4月> 法学修士	日本国憲法 人権論
兼任	講師	鈴木 真由美 (49) <平成31年4月> 修士(教育学)	ポルトガル語 I ポルトガル語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大野 陽子 (44) <平成31年4月> 日本語教育修士
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語講読 I 日本語講読 II 日本語作文 I 日本語作文 II
兼任	講師	大本 達也 (56) <平成31年4月> 文学修士
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語講読 I 日本語講読 II 日本語作文 I 日本語作文 II
兼任	講師	奥村 典子 (61) <平成31年4月> 文学修士
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語講読 I 日本語講読 II 日本語作文 I 日本語作文 II
兼任	講師	上林 良子 (55) <平成31年4月> 文学士
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語講読 I 日本語講読 II
兼任	講師	安田 由紀子 (55) <平成31年4月> 修士(言語科学)
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語講読 I 日本語講読 II
兼任	講師	浦山 美和子 (65) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語講読 I 日本語作文 I 日本語作文 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大野 陽子 (45) <平成31年4月> 日本語教育修士
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語講読 I 日本語講読 II 日本語作文 I 日本語作文 II
兼任	講師	大本 達也 (57) <平成31年4月> 文学修士
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語講読 I 日本語講読 II 日本語作文 I 日本語作文 II
兼任	講師	奥村 典子 (62) <平成31年4月> 文学修士
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語作文 II
兼任	講師	上林 良子 (56) <平成31年4月> 文学士
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語講読 I 日本語講読 II 日本語作文 I 日本語作文 II
兼任	講師	安田 由紀子 (56) <平成31年4月> 修士(言語科学)
		日本語会話 I 日本語会話 II 日本語講読 I 日本語講読 II
兼任	講師	浦山 美和子 (66) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語会話 I 日本語講読 I 日本語講読 II 日本語作文 I
兼任	講師	ロイド アビゲイル (43) <令和2年4月>
		オールラウンドコミュニケーション I オールラウンドコミュニケーション II
兼任	講師	梶 智子 (39) <令和2年4月> 学士(文学)
		リセットイングリッシュ I リセットイングリッシュ II
兼任	講師	犬飼 和夫 (62) <令和2年4月> 教育学士
		コンピュータリテラシー I コンピュータリテラシー II
兼任	講師	佐藤 瑠美 (35) <令和2年4月> 学士(外国研究)
		国際ビジネス英語 I 国際ビジネス英語 II
兼任	講師	梅原 頼子 (55) <令和2年4月> 短期大学士
		スポーツ栄養学
兼任	講師	未定 <令和3年4月>
		観光サービス論
兼任	講師	齋藤 信 (44) <令和2年4月> 博士(心理学)
		心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ロイド アビゲイル (44) <令和2年4月>
		オールラウンドコミュニケーション I オールラウンドコミュニケーション II オールラウンドコミュニケーション III オールラウンドコミュニケーション IV オールラウンドコミュニケーション V オールラウンドコミュニケーション VI スピーチプレゼンテーション II
兼任	講師	梶 智子 (40) <令和2年4月> 学士(文学)
		リセットイングリッシュ I リセットイングリッシュ II
兼任	講師	犬飼 和夫 (63) <令和2年4月> 教育学士
		コンピュータリテラシー I コンピュータリテラシー II
兼任	講師	佐藤 瑠美 (36) <令和2年4月> 学士(外国研究)
		国際ビジネス英語 I 国際ビジネス英語 II リセットイングリッシュ I
兼任	講師	梅原 頼子 (56) <令和2年4月> 短期大学士
		スポーツ栄養学
兼任	講師	齋藤 信 (45) <令和2年4月> 博士(心理学)
		心理学
兼任	講師	伊藤 文彦 (44) <令和3年4月> 博士(世界遺産学)
		世界遺産論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ロイド アビゲイル (45) <令和2年4月>
		オールラウンドコミュニケーション I オールラウンドコミュニケーション II オールラウンドコミュニケーション III オールラウンドコミュニケーション IV オールラウンドコミュニケーション V オールラウンドコミュニケーション VI
兼任	講師	梶 智子 (41) <令和2年4月> 学士(文学)
		リセットイングリッシュ I リセットイングリッシュ II
兼任	講師	佐藤 瑠美 (37) <令和2年4月> 学士(外国研究)
		国際ビジネス英語 I 国際ビジネス英語 II
兼任	講師	梅原 頼子 (57) <令和2年4月> 短期大学士
		スポーツ栄養学
兼任	講師	齋藤 信 (46) <令和2年4月> 博士(心理学)
		心理学
兼任	講師	伊藤 文彦 (45) <令和3年4月> 博士(世界遺産学)
		世界遺産論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	杉山 公信 (52) <令和3年4月> 修士(経営学)
		健康スポーツ演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	杉山 公信 (53) <令和3年4月> 修士(経営学)
		健康スポーツ演習Ⅱ
兼任	講師	李 大義 (52) <令和4年4月> 博士(商学)
		国際経営論
兼任	講師	西浦 尚夫 (53) <令和4年4月> 博士(学術)
		企業論
兼任	講師	松井 義司 (62) <令和4年4月> 博士(経済学)
		4年次演習・卒論Ⅰ 4年次演習・卒論Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・日本語会話Ⅰ、日本語講読Ⅰ、日本語作文Ⅰ、日本語会話Ⅱ、日本語講読Ⅱ、日本語作文Ⅱは、クラス編成の都合により、兼任講師7名を採用。
- ・スポーツエクササイズⅠ、スポーツエクササイズⅡは、クラス編成の都合により、兼任講師1名を採用。
- ・多文化理解は、クラス編成の都合により、兼任講師1名採用。

【令和2年度】

- ・高見専任教員（准教授）1名の退職により、松井専任教員（准教授）1名を採用。
- ・崔専任教員（准教授）1名の退職により、富本専任教員（教授）及び郭専任教員（准教授）が授業を担当。
- ・国際ビジネス英語Ⅰ、国際ビジネス英語Ⅱはクラス編成の都合により、兼任講師1名を採用。
- ・コンピュータリテラシーⅠ、コンピュータリテラシーⅡはクラス編成の都合により、兼任講師1名を採用。
- ・リセットイングリッシュⅠ、リセットイングリッシュⅡはクラス編成の都合により、兼任講師1名を採用。

【令和3年度】

- ・一柳専任教員（教授）1名の退職（定年）により、平井専任教員（教授）1名を採用。
- ・小野専任教員（准教授）1名の退職（依願）により、紺田専任教員（助教）1名を採用。
- ・日本語科目（日本語会話、日本語作文、日本語講読）について、クラス編成上担当していた非常勤講師6名に代わり、音成専任教員（助教）および山本専任教員（助教）の2名を採用。

【令和4年度】

- ・松井専任教員（教授）1名の退職により、非常勤講師2名を採用。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	4	6	0	20	0	10	4	4	3	21	1
(10)	(4)	(6)	0	(20)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	4	4	3	21	1	10	4	4	3	21	1
[0]	[0]	[Δ2]	[3]	[1]	[1]	[0]	[0]	[Δ2]	[3]	[1]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{20} = \boxed{105} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{21} = \boxed{4.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	高見 啓一	R1.8	選択	企業論	①	R1.8.31付本人からの願いにより辞任（2）
				選択	リテール・マーケティング	①	
				選択	国際地域ベンチャービジネス論	①	
				選択	国際経営管理論	①	
				選択	ビジネス会計	①	
				選択	キャリア教育 I	①	
				選択	キャリア教育 II	①	
				選択	キャリア教育 III	①	
				必修	2年次演習 I	①	
				必修	2年次演習 II	①	
				必修	3年次演習 I	①	
				必修	3年次演習 II	①	
				必修	4年次演習・卒論 I	①	
				必修	4年次演習・卒論 II	①	
必修	国際地域概論	①					
選択	国際事情 I	①					
選択	日本事情 I	①					
2	准教授	崔 載弦	R2.3	選択	インバウンド観光論	①	R2.3.31付本人からの願いにより辞任（2）
				選択	観光ビジネス論	①	
				選択	地域研究・アジア III	①	
				選択	観光サービス論	①	
				選択	観光経済学	①	
				選択	インターンシップ I	①	
				選択	インターンシップ II	①	
				選択	インターンシップ III	①	
				選択	インターンシップ IV	①	
				必修	1年次演習 I	①	
				必修	1年次演習 II	①	
				必修	2年次演習 I	①	
				必修	2年次演習 II	①	
				必修	3年次演習 I	①	
必修	3年次演習 II	①					
必修	4年次演習・卒論 I	①					
必修	4年次演習・卒論 II	①					
必修	国際地域概論	①					
選択	国際事情 I	①					
選択	日本事情 I	①					
4	准教授	小野 圭久	R3.3	選択	スポーツエクササイズ I	①	R3.3.31付本人からの願いにより辞任（3）
				選択	スポーツエクササイズ II	①	
				選択	スポーツ社会論	①	
				選択	地域スポーツマネジメント	①	
				必修	1年次演習 I	①	
				必修	1年次演習 II	①	
				必修	3年次演習 I	①	
				必修	3年次演習 II	①	
				必修	4年次演習・卒論 I	①	
				必修	4年次演習・卒論 II	①	
必修	国際地域概論	①					
選択	日本事情 I	①					

5	教授	松井 義司	R4.3	選択	日本事情 I	①	R4.3.31付け本人からの願により辞任(4)		
				選択	キャリア教育 I	①			
				選択	キャリア教育 II	①			
				選択	キャリア教育 III	①			
				選択	キャリア教育 IV	①			
				選択	国際地域ベンチャービジネス論	①			
				選択	国際経営論	②			
				選択	企業論	②			
				選択	ビジネス会計	①			
				必修	国際地域概論	①			
				必修	2年次演習 I	①			
				必修	2年次演習 II	①			
				必修	3年次演習 I	①			
必修	3年次演習 II	①							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	28 科目	必修	28 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	35 科目	選択	33 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	63 科目	計	61 科目	計	2 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	28 科目	必修	28 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	35 科目	選択	33 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	63 科目	計	61 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{4}{20} = \boxed{20} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
3	教授	一柳 達幸	選択	スポーツエクササイズⅠ	①	定年退職 (3)				
			選択	スポーツエクササイズⅡ	①					
			選択	健康スポーツ演習Ⅰ	①					
			選択	スポーツとまちづくり	①					
			選択	文化とまちづくり	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職等による専任教員の補充は、公募により応募者の中から業績等の審査を踏まえ、後任の専任教員の採用を行っており、影響はないものと考えている。また、学生には、シラバス、時間割表にて丁寧に説明を行っている。
--

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際地域学部 国際地域学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 本学では、全学的な教育の資質の維持向上を図る機関として、鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部に自己点検・評価委員会を設置し、当委員会内に「FD・SD推進部会」を置き、取り組んでいる。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD・SD推進部会は、定期開催している。
- ・ 構成員は、各学部代表教員の5名および事務局職員2名で構成している。

c 委員会の審議事項等

- ・ FD・SD活動の基本方針に関する事項
- ・ FD・SD研修会に関する事項
- ・ 教育活動の組織的改善に関する事項
- ・ 事務機能の組織的改善に関する事項
- ・ 学生の授業評価の実施に関する事項
- ・ 授業方法の改善に関する事項
- ・ 教職員の研修及び資格取得に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ FD・SD研修会
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 授業評価アンケートの集計、分析および学生へのフィードバック

b 実施方法

- ・ 授業評価アンケート 年2回実施（前期と後期）
- ・ FD・SD研修会 教職員を対象に開催

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ FD・SD研修会 令和3年度は5回開催
- ・ 三重県私立大学高専協会主催による合同FD・SD研修会に積極的に参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学長、副学長、学部長の役職者等で構成する「経営教学ミーティング」において、FD・SD研修会の実施内容を報告している。その結果を踏まえ、活動の振り返りと課題を認識し、改善事項については、学長からの指示のもと、学部、学科、専攻単位の教員組織内で改善に向け取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートを実施している。
- ・ 実施時期は、前期は7月、後期は1月に行っている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 教員には、集計後のアンケート結果に基づき、コメントの提出を義務付けている。
- ・ 学生には、アンケート集計結果と教員からのコメントをまとめ、自由に閲覧できるよう備付している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的は、既設の国際人間科学部の教員組織、施設設備を継承し、近年の地域創生の社会的な要請に応え、グローバル化する地域社会の課題を、ビジネス・イノベーション力や文化、歴史などの多角的な教養を使って、当該地域から解決策へとアプローチする人材を養成する。

社会・経済の急速なグローバル化が進む中、人口減少や大都市集中化、経済社会の二極分化が進み、地域創生が国の政策課題になる中、地方都市に所在する本学において、これらの社会的な要請に応え、これらの課題の解決に貢献する人材の養成を目指す。

これらの目標のもと、全学部においては、2021年度入学生からノートパソコンが必携化され、自宅での事前・事後学習に加えて、講義時間内でのリアルタイム検索やアンケート調査に大きく寄与している。ただし、教員間での活用に程度差が介在するので、今後のFD研修会等で統一を図り、教学の質の向上に努める必要がある。金融リテラシー教育は2023年度からの本格導入に先行して、2022年度前期に国際地域学部「日本事情I」内で東海東京証券講師による講義を展開する。

国際地域学部では、コロナ禍での制約があり、学外フィールドワーク、研修、海外留学の実施が幅広くできず、その分、少人数制ゼミで実践的体験型学修が実践された。観光ゼミでは、鈴鹿市観光協会との連携事業でSNSを活用した情報発信を積極的に展開し、マーケティングゼミでは、汎用プラットフォームを用いた二次流通の専門的学修を実施した。

外国人留学生を対象とした日本語能力向上プログラムを実施した結果、日本語運用能力が一定水準以上向上している。

LMS（ラーニングマネジメントシステム）の導入が見送られたため、現在、求められる学習成果の可視化が難しい状況にあるが、一方、ノートパソコン必携化と対面授業にも Google Classroom の活用を促すことで授業時間外学修の充実が図れている。

この Google Classroom を使用した授業においては、アンケートにより授業者の評価が高いことが明らかになったが、Google Classroom の使用実績が不明なため、全体としてどのような効果が挙げられているかが不明であり、今後のIR活動が課題である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 令和4年6月末日 公表(予定)

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開予定（令和4年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和5年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。